

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	社会福祉法人 日本厚生学園 りんどう学園		
○保護者評価実施期間	2025年3月10日		～ 2025年3月21日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	2	(回答者数) 2
○従業者評価実施期間	2025年3月10日		～ 2025年3月21日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	2	(回答者数) 2
○訪問先施設評価実施期間	2025年3月10日		～ 2025年3月21日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者数)	2	(回答者数) 2
○事業者向け自己評価表作成日	2025年3月26日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている。	・訪問日時をお伝えする際に、最近のご様子をうかがうようにしている。 ・担任の先生とは、開始前に打合せを行い支援をしている。 ・担任の先生と、その都度、対象児童の様子を情報共有することをこころがけている。	・専門的な見地から必要な助言が継続的にできるよう、外部の研修を受講し、職員の資質の向上を図る。
2	訪問支援に使用する場合の教具教材は、その都度適切なものを選択している。	・対象児童の感覚特性に沿った道具の使用をこころがけている。	・専門的な見地から必要な支援が継続的にできるよう、外部の研修を受講し、職員の資質の向上を図る。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により行う取り組みが不足している。	・アセスメントツールを検討している段階にある。 ・標準化されたツールに適応しにくい利用者のため、インフォーマルアセスメント中心で日々行っている。	・フォーマルアセスメントのツールを利用者に適応できるよう検討する。
2	家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行う取り組みが不足している。	・家族支援プログラムの実施について、利用児の保護者には周知しているが、外部の方を対象としていない。	・利用児の保護者に限定せず、一般向けのペアレントトレーニングの開催を検討する。
3			